

# 第4回(令和3年度第1回) 摂津市地球温暖化対策地域計画 策定委員会 議事要旨

日時：令和3年12月20日(月) 14:00～16:00

場所：摂津市役所本館3階301会議室

## ■ 出席者

- |             |        |                                   |
|-------------|--------|-----------------------------------|
| (1) 委員      | 尾崎 平   | (関西大学環境都市工学部都市システム工学科教授)          |
|             | 北川 照子  | (特定非営利活動法人摂津市人材サポート・ビューロー代表理事)    |
|             | 島内 嘉紀  | (摂津市商工会事務局長)                      |
|             | 小野 充   | (大阪ガス(株)北東部導管部ネットワーク地域コミュニティ室長)   |
|             | 鳥越 喜雄  | (関西電力送配電(株)大阪支社北摂地域統括長)           |
|             | 沖野 豊美  | (大阪府地球温暖化防止活動推進員)                 |
|             | 岩井田 武志 | (大阪府環境農林水産部エネルギー政策課温暖化対策グループ課長補佐) |
| (2) 事務局     | 山本 和憲  | (摂津市生活環境部環境政策課長)                  |
|             | 中張 功貴  | (摂津市生活環境部環境政策課)                   |
|             | 中島 公平  | (摂津市生活環境部環境政策課)                   |
|             | 福田 莉子  | (摂津市生活環境部環境政策課)                   |
| (3) コンサルタント | 梁田 雄太  | (株式会社建設技術研究所)                     |

(以上、敬称略)

## ■ 内容

- はじめに
- 審議事項
  - 地球温暖化対策計画の改訂を受けた見直しについて
    - 新たな削減目標について
    - 施策における取組強化について
  - 摂津市地球温暖化対策地域計画(素案)について
- その他

## ■ 配付資料

- 【資料1】 地球温暖化対策計画の改訂を受けた見直しについて
- 【資料2】 摂津市地球温暖化対策地域計画(素案)
- 【資料3】 見直しに係る新旧対照表

## 1. はじめに

- 尾崎会長より開会の挨拶。
- 事務局より配布資料の確認。

## 2. 審議事項

### 1) 地球温暖化対策計画の改訂を受けた見直しについて

- 事務局より【資料 1】に基づき説明。

委員：挙げられた削減対策は国の施策と連動して取り組んでいく理解でよいか。

事務局：問題ない。

委員：挙げられた施策を一般の市民に対してどのようにPRしていくのかが現状見えない。例えば新たに挙げているESCO事業をどの施設に対して実施していくのか等を計画で示してはどうか。

事務局：本計画の位置づけ上、計画に具体的に落とし込むことは困難と考えている。市民へ情報共有していくにあたっては、スマートフォンやSNS等、新たな媒体も活用してうまくPRしていきたい。

委員：家庭部門の削減率を踏まえると市民へのメッセージを分かりやすく伝えていくことは重要である。

事務局：市民へのアプローチは見える形で行っていくべきとは考えている。国や府と連携して取り組んでいくものもあり、詳細な書き方はできない対策もある。内部では引き続き具体的な取組の検討を進めていきたいと考えており、行政が主体となって範を示したいと思っている。

委員：重要な指摘である。それぞれのセクターにやってもらいたいことがあるはずであり、市としてはそれらを分かりやすく示すことが必要である。市民によって何をすればよいのかわからない方もいるため、メッセージをしっかりと伝えてもらいたい。

温室効果ガスの削減目標は、排出係数の効果と人口減少の効果で何もしなくて減ると捉えられることが多い。だが今回新たに見直した削減目標ではそうは行かないことが多い。

委員：概要版の中に市民、事業者へ取組に対して見えるようにしてもらいたい。

### 2) 摂津市地球温暖化対策地域計画（素案）について

- 事務局より【資料 2】【資料 3】に基づき説明。

委員：基本方針 5 に記載している関連するSDGsにはゴール 13 も含まれると考えられるので追記してもらいたい。

- 事務局：ご指摘のとおり追記する。
- 委員：指標の目標年度を2026年度にしているのはなぜか。
- 事務局：本計画では、緩和策の中から、計画全体の着実な推進をリードする「重点施策」を設定し、「重点施策」の成果を示す数値目標として指標を設定している。「重点施策」は中間見直しの前期5年間を目途に計画的かつ効率的に実行していくこととしているため、目標年度も5年後の2026年度としている。
- 委員：施策に挙げている「顕彰制度の導入」について、大阪府では応募数の増加が課題となっている。商工会議所と連携して、日々の取組をウォッチできるようにできれば効果的な取組になると思われる。
- 事務局：本市では「摂津すぐれもの」という取組がある。ただし、顕彰制度において手を上げるのは大企業が多くなる傾向にあるため、大企業だけでなく本市の大半を占める中小企業の取組を情報収集していきたい。
- 委員：大阪府では条例に基づく実態の把握をしており、企業とのキャッチボールができるシステムがある。顕彰制度を設けるのであれば企業に対しての勉強会等の設置など企業との接点を作る取組も検討してもらいたい。
- 委員：低燃費車両と記載している箇所は次世代自動車に表現を統一してはどうか。
- 事務局：ご指摘の主旨を踏まえて修正する。
- 委員：市民に分かりやすくPRしていく面ではコラムをうまく活用してはどうか。計画の最終案段階で検討してもらいたい。
- 委員：摂津市は9割が小規模事業者になる。そのため、取組を行っていくうえで関係者が集まって連携していくものもあるので一体的・面的な表彰してもらいたい。
- 委員：指標について、この取組全体を把握できるものを設けてはどうか。現状挙げている指標は市民が実感しにくいものが大半である。  
また、次世代自動車の例示について、2030年にはEVやPHVは次世代にならないのではないかと。  
指標や削減目標が現状どれくらい進捗しているか報告する機会を設けてはどうか。
- 事務局：（仮称）計画推進協議会を立ち上げる予定であり、毎年指標を報告していきたいと考えている。
- 委員：削減対策がどれくらい進んでいるのか実感できる指標を検討してもらいたい。
- 事務局：ご指摘の主旨を踏まえて再検討する。
- 委員：他都市の事例も踏まえながら検討してみてもどうか。

また、高効率機器の導入促進にはコージェネレーションシステムに関する記述も追記してはどうか。

委員：2050年のめざす将来像と10年後めざす姿が混在しており分かりにくい。将来像としてまとめてもらいたい。

### 3. その他

事務局：今後のスケジュールについて、翌年1月中頃に庁内部会を開催予定にしている。その後、策定委員会を開催させていただき、策定委員の皆様からのご意見を反映した素案を「摂津市地球温暖化対策地域計画（案）」として、2月初旬にパブリックコメントを実施する。実施期間は1か月である。

〔了〕